

事業名 曾木くらしのしるべvol.2

事業区分 ソフト事業

1. 事業の成果

当日のイベントは土器の野焼きのワークショップのみとなりましたが、開催までに小学生に向けた草木染めのワークショップを行ったり、土器の野焼きワークショップをしたりと、たくさんの方たちと関わることができました。

また、曾木町や鶴里町の会社をまわり、協賛金を募ってまわりましたが、どの会社の方たちからも応援しているとの声をいただき、励みになりました。

開催するかどうするかも、曾木町の町内会のみなさんと話をし、決めました。町内会のみなさんからいろんな意見をいただき、また実行委員のわたしたちの意見も聞いてくださり、話し合いができたことは、今後また曾木くらしのしるべの開催をするに辺り、とてもよい道でした。

町内会のみなさんから、今回は残念だけれども、次また頑張ってください、と心強いお言葉をもらいました。



別紙 1

2. 実施内容

曾本くらしのしるべ vol.2 と、そのイベントに向けてのWSと活動

●立山クラフト視察

〈日 時〉 2019年5月25日（土）

〈場 所〉 立山クラフト会場 立山町総合公園
〒930-3217 富山県中新川郡立山町野沢 1

〈視察目的〉

- ①次回導入を検討しているシャトルバス運行について視察
- ②子どもの遊び場として予定しているスラックラインの視察及び顔合わせ

〈視察内容〉

①シャトルバス運行状況

・運行図



・案内板について



臨時駐車場入口の看板



臨時駐車場からシャトルバス発着場へ向かう信号

別紙 1



シャトルバス発着所の看板

- ・人員配置について
 - 臨時駐車場には立て看板のみで係員なし
 - 発着場に2名 会場案内図などの配布
- ・シャトルバス運行方法
 - バス1台
 - 休憩時間を考慮して運転手2名体制、20分間隔で運行

②スラックライン

- ・会場の様子



スラックラインチームのパフォーマンス 子どもたちのスラックライン体験コーナー

- ・次回ソギクラでのスラックライン企画
 - 立山クラフトの交流会に参加させてもらい顔合せ
 - 会場の規模、条件によってラインの張り方など要相談
 - 中心メンバーの百瀬さんは第一回ソギクラに来てくださっているので調整役になっていただく予定

別紙 1

③その他会場内について



▲来場者マップ

▲協賛者さん一覧

◀入場料制になったことで設けた入口ゲート

●草木染めワークショップ

〈開催日時〉 2019年7月30日(火) 31日(水) 8月22日(木) たたき染め
8月26日(月) 煮出しでの染め

〈開催場所〉 曾木公民館、濃南小学校

〈参加人数〉 15人/回、4回開催

〈打合せ・事前準備〉 1回

〈開催内容〉 曾木町、鶴里町の小学生のみなさんと藍の生葉の草木染めと玉

別紙 1

ねぎの皮の草木染めをしました。

2枚のハンカチを染めて、1枚は自分のもの、もう1枚は曾木く

らしのしるべの会場に道しるべとして飾る予定でした。

藍の生葉をハンカチに押しあてて、木槌で叩くと葉っぱの形に染まります。鮮やかな緑色に染まる様子を楽しみながら作品を作っていました。

玉ねぎの皮で染めるのも、自分の家を出た玉ねぎの皮を持ってきて、それを煮出して染めました。ゴムで布を縛ったり、ビー玉を入れてゴムで布を縛ったりして、染まらないところと染まる場所を作りました。染めてから、そのゴムを取ると色がくっきりわかれます。「わあ！」と歓声をあげ、嬉しそうでした。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、当日は野焼きのワークショップのみになり、子どもたちの草木染めの作品を飾ることはできませんでしたが、次回、開催したときには飾ろうと考えています。



▲7/30、31、8/22 叩き染の様子

別紙 1



▲8/26 玉ねぎ染めの様子

●縄文時代と同じ方法で土器を作ろう

〈開催日時〉 1.2019年11月23日(土祝) 薪集め、土器で煮炊き
(全3回) 2.2020年 3月 1日(日) 作陶
3.2020年 秋 野焼き(4/4→秋に延期)

〈開催場所〉 1回目、3回目 旧曾木小学校グラウンド
2回目 曾木公民館2階ホール

〈講師〉 鴻 義成さん

〈参加人数〉 13名

〈打合せ・事前準備〉 2回

〈開催内容〉 昔ながらの方法で日々の暮らしに使える土器を作ることを目的として、全3回のワークショップを開催。野焼きで使用する薪集めをすることにより曾木の里山の環境保全にもなる

別紙 1

- 〈開催結果〉 あえて3回に分けることでひとつずつの項目を時間をかけてじっくり取り組むことが出来、参加者に好評でした。特に薪集めの回で実際に土器を使用して煮炊きをしたことにより、作りたい土器のイメージを持つことが出来たようです。また、煮炊きの際には地元産の野菜、米などオール曾木を意識しました。残念ながら今回はソギクイベント内での野焼きとはなりませんでしたが、講師の「全てを自分たちの手で生み出す」ということを参加者と共有する土器野焼きのワークショップは、里山、うつわ、土岐市曾木町への関心が高まったものでした。
(参加者へのアンケートは4月の野焼き時に行う予定です)



11/23 薪拾い



11/23 土器について話す



11/23 土器での料理



3/1 土練りの様子



3/1 作陶風景



3/1 出来上がった参加者の作品

※この後、講師の鴻さんが素焼きしてから野焼きの予定

●曾木くらしのしるべ vol.2

※新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止を決定

開催日 2020年4月4日(土) 5日(日) ※開催中止

会場 旧曾木小学校グラウンド、曾木公民館、曾木神社

主催 曾木くらしのしるべ実行委員会

後援 土岐市、土岐市教育委員会

協賛 (株) トーノーセキュリティー、(株) ユーフクトリー、(株) ユープロダクト、愛岐フェンス、柿野温泉 鶯鳴荘、株式会社 可知井建設、株式会社 サブリ(佐分利陶料 有限会社)、大晶建設、有限会社 日正化学工業所、パンの店 カットン、みくに茶屋、Monoina、匿名希望一名